



津奈木公民館
電話 (78) 5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の顔を写したものです。

津奈木



まつり



橋

津奈木大橋、あけぼの橋、津南橋は彫刻も設置されているユニークな橋です。新緑のまぶしいほどの好天氣に橋を散策する。若いカップルにさわやかな海からの風が吹き抜けていく。新緑の鮮やかなみどり橋が山頂を一気に渡れるようになっています。老若男女を問わず誰にでも渡れる橋。そして津奈木町中心部が一望でき、沖を眺めれば白い航跡のひと筋が本当に情緒豊かな津奈木を眺める事ができます。岩の合間を縫って通る橋もあり一度と言わず、二度三度と行ってみてみたい橋です。スリルもあるので若者にも受けるかも知れません。

一言

わが、青春時代を、第二次世界大戦と、敗戦後と過ごし、OL、結婚、子育てが終わり、還暦を迎えて、ほっと一息、未亡人になってしまった。あつけない第二の人生だった。

平成十二年八月四季彩に於て、同級生一同と、古稀の宴を祝った。卒業以来初めて会う人もいて、なつかしかった。おなじ境遇の人も何人かいる。

第三の人生に入学。今年は二年生、振りむけば、昨年は、二回も病氣入院した。これでは駄目だ、病なんか負けてはいけない、今が私共にとって青春なんだ。頑張つて、頑張つてと自身をばげました。第三の人生ともなれば、集まってから出てくる会話は決まって「健康」についての話題が多く「この頃はどげん、元気ね？」ではじまる。趣味をとおしてまわりから、元気をもらいながら楽しい時間をすごしている。

第四の人生があるか、ないか知れないが悔いのないよう送りたいと願う此頃である。

E・T (染竹)

新刊案内

一般書 (図書館からのお知らせ)

- ・旅日記
- ・かばさん
- ・落語絵本めぐろのさんま
- ・ギグラーがやってきた
- ・ぼくたちロンリーハート・クラブ
- ・弥陀の橋は (上)
- ・〃 (下)
- ・官邸 (上)
- ・〃 (下)
- ・小説ザ・外資
- ・ザ・ゴール2
- ・盲導犬クイールの一生
- ・光に向かって123のこころのタネ
- ・はぐれ牡丹
- ・ほんとうのアフガニスタン
- ・インストール
- ・平家物語 (二)
- ・16歳の海戦

平成十三年文化協会奨励賞作品



この絵は、家のげんかんから見た風景です。こまかくかいたところでは、ススキのほをのむくふうしました。

子ども美術館 (14) 「秋の風景」

平国小五年 福山しおり

平成十四年度

社会教育団体役員紹介

津奈木小学校PTA	副会長 長 西平 弘二	副会長 長 若島 一弥	副会長 長 新立 晴敏	副会長 長 山本みちよ	副会長 長 成田 典子
津奈木中学校PTA	副会長 長 野崎 祐助	副会長 長 林田 昭二	副会長 長 財部 孝昭	副会長 長 藤原 千和	副会長 長 野崎 祐助
赤崎小学校PTA	副会長 長 松崎伸一郎	副会長 長 伊藤 恵子	副会長 長 佐々木京子	副会長 長 野崎 祐助	副会長 長 松崎伸一郎
平国小学校PTA	副会長 長 野崎 祐助	副会長 長 伊藤 恵子	副会長 長 佐々木京子	副会長 長 野崎 祐助	副会長 長 松崎伸一郎
津奈木町連合婦人会	副会長 長 石田ミサ子	副会長 長 福山 二子	副会長 長 村上真由美	副会長 長 伊藤セイ子	副会長 長 森本 温美
赤崎校区婦人会	副会長 長 伊藤セイ子	副会長 長 森本 温美	副会長 長 伊藤セイ子	副会長 長 森本 温美	副会長 長 伊藤セイ子
平国校区婦人会	副会長 長 伊藤セイ子	副会長 長 森本 温美	副会長 長 伊藤セイ子	副会長 長 森本 温美	副会長 長 伊藤セイ子

川内公民館 自治活動

去る、五月二十五日(土)、午後七時三十分から川内公民館において「ホテルまつりコンサート」と銘打って自主活動がありました。下川博文さんの司会による開会・下川文雄区長の「この活動は、川内地区の活性化」の一助にしたいとの挨拶。軽妙な司会によるコンサート、このほり、

編集後記

今年の六月上旬は好天氣に恵まれ過ぎたようです。海の幸、山の幸に影響しなければと思います。日本中がサッカー一色に染まりました。今から野球の話題が復活することでしょう。町内の盆行事も盛沢山です。暑さと忙しさも併せてやってきましたが元気で頑張りまっしょい。



赤とんぼ等々、澄んだ川内の夜空にオカリナの響き、ギター、デジタルホーンの音色に聞き入っていました。子ども合唱、自己紹介。そしてホテル観察に出かけました。みんな揃ったところでお楽しみの交流会。川内地区総会の交流会で大盛況で夜が更けるまで賑わった交流会でした。

学校週5日制に伴う 「土曜日の家庭における 学習時間」の制定



町内の児童・生徒に「学習の習慣付け」を行うために、津奈木町教育委員会では昨年からの協議を重ね、本年4月『土曜日の午前10時まで家庭・地域等における学習時間』とすることを制定しました。

なお、このことは子供達が家庭の用件、学校部活動、町や地区の行事参加の場合はその限りではないとしています。

この制定の推進につきましては、PTAに対しその推進母体になっていただきたく説明等を開いていますが、町内の保護者の方々が「土曜日の午前10時までは自主学習の時間」であることを理解し、地域全体で勉強の習慣付けの気運を高めていただきたいと思います。

学校週5日制が導入されてから三ヶ月が経ちました。その間の子供さんの様子はどうかだったのでしょうか？
目標のある時間を設定して「メリハリのある生活」が今の子供達には必要です。

土曜日の過ごし方について親子で話し合うことも大切です。是非ともいい方向に進みますよう子供さんの自主性を尊重し促して下さい。
(津奈木町教育委員会)

第三〇回郡市各町対抗 陸上競技大会・津奈木町選手 団各種目別優勝者

＊100m(中学生2年女子) 長濱 景(津奈木中学校)
記録・13秒9(大会タイ記録)
＊200m(中学生女子) 宮川 瞳(津奈木中学校)
記録・28秒3(大会新記録)
＊400mR(小学生女子) 遊亀明日香・福山侑里
林田夏美・船場友菜
記録・63秒0(大会新記録)
＊100m(一般女子34歳以下) 福田真紀
記録・14秒7(大会新記録)
＊100m(一般男子40歳～49歳) 長濱貴久也
記録・12秒1(大会新記録)
＊800m(中学生女子) 藤原恵美(津奈木中学校)
記録・2分30秒6
＊砲丸投 (大会新記録)
＊一般女子35歳～49歳 緒方利恵子
記録・7m84(大会タイ記録)
＊各選手健闘しましたが総合は第三位でした。

32年前に戻る 同窓会

この度、私たち4月28日(日)ゴールデンウィークの始まりに「昭和44年度赤崎小学校卒業生同窓会」を行いました。
当時、45名の卒業生に案内をかけた26名の参加をいただき、6年生担任だった角口毅先生をお迎えして32年前にタイムスリップして授業を受けようとする企画なのです。
また、先生の38年間という長い教員生活を振り返る



り、今日までの教訓としてのお言葉もあり、私達も今後の人生への糧とし、子供達に一つでも伝えていけるよう努力していきたいと思っています。
無事授業も終了し、赤崎小学校を全員で斉唱しました。その後、現赤崎小学校長後藤先生の案内のもと、ビデオによる在校生の活動状況上映会をしていただき32年前との違いと、在校生のすばらしい活動に感動するばかりでした。
今一度、同窓生のすばらしさ、大切さを確認し、同窓生として、お互いに励ましあい、いつまでも元気で、みんなとの再会を楽しみに、それぞれの立場におかれ活躍される事を祈念申し上げます。(宮嶋弘行記)



「津奈木に育て 奉仕の精神」 津中生美化活動

去る、六月十二日津奈木中学校「美化委員会」(渡邊委員長)は、つなぎ文化センターB体育館の花壇を耕して草花の植付け準備を奉仕してくれました。委員二十数名で午後七時頃まで熱心に活動していま



わたしが、しょうかいしたい本は、『よっちゃんのビー玉』という本です。

わたしがしょうかいしたい本 「よっちゃんのビー玉」

津奈木小三年 真野ちあき

よくろうか
雅号を使う柄じゃ無アエレベーター
俺が乗ったらブーと鳴り
よくろうか
少ななごたる包み銭エレベーター
もう満杯ぞ早よ閉めろ
宰相
よくろうか
口ばかりは達者ですエレベーター
二三階でもよくろうか
達生
よくろうか
振られて気付いたらっさんエレベーター
怪しか人と乗らんこつ
万葉
よくろうか
足のしびれが限界ですエレベーター
どうも重さが気になって
神無月
〔次回の笠〕
〇立ちどまり 〇いらん世話
一笠二句を 八月十日(出迄)
津奈木町教育委員会へ

五十の手習い

ここに、こんな人が……
福田一江さん(72) (福浦)
福田さんは平国(福浦)の伝統芸能である六方踊りの三味線を担当されています。
三味線を習い始めたのは五十歳を過ぎてからで、若い頃から習いたいと思っておりましたが、それまで機会がなくお友だちに誘われて始められました。



六方踊りを引き継がれる時には譜面もなく、前任者の所に三日間通われ、御自分で譜面を作成されました。
平国小学校のボタ餅会やふれあいまつりなどで披露されていますが、児童によっています。
当面の課題は後継者育成ですが、三味線はもちろんのこと、太鼓の方も後継者がいない困っています。
子ども達は覚えが早いのでいつそのこと子ども達に教えたらと思うとおられるそうですが、現在のところ



それまで二十歳で兵隊にとられるのが、一年早めて十九歳でお国のために徴兵されることになったが、二十歳の夏終戦を迎え大正十一年生まれの先輩が死を賭して防禦してくれたおかげ



七十年の追憶

昭和八年入学初めの昭和十一年生は、この年国語読本が初めてカラー印刷で、その第一頁は「サイタサイタ サクラ ガ サイタ」であった、よって同級会の愛称は、「サイタ、サイタ同級会」と名付けている。
同年末、今上天皇が御誕

古川 西川 初男

輝かしい青春も成功も、或は人生の失敗も、小学生時代に戻れば、まだ遠い将来の話ではないか、卒業したあとの自慢話も失敗談も小学同級会にふさわしくなく一途になつかしく盛りあがるのはそのせいであろう。

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなぎ短歌会
しろご漁の季節きたるらし
潮より鶯の啼く声海よりきこゆ
西 滋子
わが里に新幹線の通ると
活気のなかに山裂れゆく
白浜美和子
庭隅に咲きはじめたる金宝樹
五月の風に大きく揺らぐ
福田ハ重子
祖母の鍋母の中血受け継ぎて
これぞわが家の宝と云わむ
沢田しずを
石垣の穴を覗けば温かき目に
這いつるかのイヤーな黒へび
西川 ムキ
薄利をかけんと負いし噴霧器の
背に重たく吾が老を知る
寺本ツルヲ
明け方の雨にぬれつゝ公園の
銀杏の若葉今だおさなし
野田 浦子
〔次回の笠〕
〇立ちどまり 〇いらん世話
一笠二句を 八月十日(出迄)
津奈木町教育委員会へ